

[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	③
御提案件名	港湾内の海水の浄化
御提案者	濱村 哲之進
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>③ 湾内の海水浄化について</p> <p>当社は数年前から石炭灰による NO<sub>x</sub> の除去等の実績を重ねていた。近年は、TRS 株式会社販売の“NS バラス”“NSS サンド”を用いて、防草材等の開発を行っている。NS バラス、NSS サンド共に石炭灰と同様に、多孔質定形粒子の混合物である事から、海水中の濁度 (にごり) を調査した。結果は添付資料の通りである。</p> <p>石炭灰には、別添資料の中に、セシウム、ストロンチウムの吸着が確認されている。</p> <p>以上の事から、福島県飯館村を訪ね実験を行った。</p> <p>スレートぶきの倉庫解体後、スレート屋根の放射能が高い事から、廃棄処分が不可となった。現状では、4.606 μsv/hr、4.557 μsv/hr であった。</p> <p>NSS サンドと NS バラス+水ガラス混合の 2 種類を設置し、その後、計測を行った結果、1.91、1.96 と約 1/3 に低下した。低下した原因は、吸着したものと考えられるが、現在さらに実験を重ね吸着の有無を確認している。以上のように吸着が確認できれば、安価で対策が行われる訳であり有意義な事と思われる。</p> <p>方法</p> <p>① NSS サンド、NS バラスに水ガラスを混合し、養生を行う。一定の大きさに野球のボール程度締め固めたのち整形した。網の目の袋に入れ、一般の人力で運べる大きさにし、海洋に投げ入れる。目安は 1 m<sup>2</sup> 4 袋程度。</p> <p>② NSS サンド、NS バラス又は、石灰石ハイビーズに水ガラスを添加したものを海洋に混合しながら投下する。厚さが 20 cm 程度になる様にする。元々、海洋に砂の代わりに投下していたので問題はない。</p> <p>以上のようにした方が解決は早い。</p> <p>ポンプによりくみ上げ、浄水装置では何年たっても問題解決には至らないと思われる。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点</li> </ul>	

・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）

（備考）技術提案募集の内容（6分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）